# 第５９０回　放送番組審議会

１．日　　時　　2022年11月16日（水）　午後１時30分～

２．開催場所　　テレビ岩手６階大会議室

３．委員総数　　９名

出席委員　　７名

委　員　長　　加藤　千晶
副委員長　　前田　千香子
委　　員　　緑川　智恵子
委　　員　　林　　伸彦
委　　員　　岩城　択
委　　員　　葛尾　敏哉
委　　員　　菊地　文彦

欠席委員　　２名

委　　員　　蛎崎　奈津子
委　　員　　久保　公人

社側出席者

榧野　信治　　（代表取締役社長）
福士千恵子　　（取締役副社長　社長補佐・報道制作担当）
池田　学　　（常務取締役　経営企画・関連会社担当）
小形　恵一　　（報道制作局長）
桑島　広実　　（報道制作局次長兼制作部長）
岩瀬　弘行　　（報道制作局アナウンス部長）

事　務　局

藤村　恵一　（編成局長兼編成部長）

４．議　　題

１．　10 月 23 日（日）9：55～12：00　放送

「いわて盛岡シティマラソン 2022」

2.「テレビ岩手　放送番組編集基準」の変更について

3. その他

５．資　　料（資料として以下のものを配布）

・視聴者からのご意見

６．意　　見

【委　員　側　意　見】

〇スタート地点ダイジェスト、盛岡中心ダイジェスト、ランナーカメラの中継など、とてもメリハリが効いていて、随所に飽きさせない工夫が凝らされていた。

〇市民ランナーの熱量がすごく伝わる素晴らしい番組だった。

〇子供たちの応援なども取り上げいて、みんなで岩手を盛り上げているところが伝わって良かった。

〇トップランナーとのタイム差ちょっと分かりにくかった。

〇生放送であることの意図・目的はどのあたりにあったのか。

〇ランナーならではの情報などマラソンに興味がない人が聞いても楽しいコメントが満載だった。

〇折り返し地点のインタビューがとても面白く「盛岡最高」とか「きつい」とか本音を聞けて、番組を盛り上げた。

〇マラソンに対する関心がちょっと薄かったが、見終わって沿道で応援をしてみたいなとか、何か関わってみたいという気持ちになるような番組だった。

〇応援していた中学校の生徒や給水所のお世話をしていた自治会の代表など、裏方の支えた方々のインタビューも盛り込まれていて良かった。

【局　側　意　見】

〇今回２回目ということで、前回２０１９年からの改善点や新しい試みなどを入れて放送した。

〇盛岡の街中を大群衆が走るという非日常的な光景を、生中継の他、ＶＴＲを駆使して表現すること、優勝争いだけではなく、大会を楽しむ市民ランナーの表情やボランティアの応援など、市民マラソンならではの魅力を伝えること、ランナーの充実感などを声と表情で伝えることの３点を主眼に展開した。

〇リアルタイムで動いているものを伝えていくというのはテレビとして、一番の親和性がある。

〇マラソン中継というのは年に１回しかいないため本当にイレギュラーな仕事だが、スタッフそれぞれが日頃培ったものをうまくここに転用して発揮してくれた。

【諮問・答申事項】

なお、民放連　放送基準が一部改正されるのに伴い、テレビ岩手　放送番組編集基準の変更を番組審議

会に諮問した結果、『妥当である』との答申を受けました。
改訂された放送番組編集基準は2023年4月1日に施行されます。

7．審議機関の答申または意見の概要公表の方法及び年月日
①自社放送　11月22日（火）11：45-11：52「あなたと歩むテレビ岩手」
②テレビ岩手本社での据え置き
③読売新聞への掲載
④自社HPでの掲載　https://www.tvi.jp/tviweb/deliberation